

令和6年7月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 **開催日時** 令和6年7月24日（水）
午後1時00分から午後2時00分まで
- 2 **開催場所** 利府町役場 第1会議室
- 3 **出席委員** 本 明 陽 一 教育長
高 田 修 委員
坂 下 咲希恵 委員
小 島 優 子 委員
- 4 **欠席委員** 村 松 淳 司 委員（教育長職務代行）
- 5 **説明のため出席した者** 教育部長 小 澤 晃
教育総務課長 小野寺 厚 人
生涯学習課長 古 澤 晃 一
総務学事係長 伊 藤 めぐみ
総務学事係主査 渡 邊 理 紗
- 6 **傍聴者** なし
- 7 **令和6年6月定例会会議録の承認**
原案のとおり承認。
- 8 **本定例会会議録署名委員の指名**
高田委員と坂下委員を指名。
- 9 **一般事務事業報告及び事業計画**
（説明者：教育部長）
資料に基づき説明。原案のとおり承認。
- 10 **議案**
議案第17号 令和7年度使用教科用図書の採択について
教育長
議案第17号 令和7年度使用教科用図書の採択については、非開示
情報が含まれるので秘密会とする。

議案第18号 利府町教育委員会事務事業点検・評価報告書について

(説明者：教育総務課長)

資料に沿って説明。

(審議)

坂下委員

B評価としたところは今後の課題として取り組んでいくということか。

教育総務課長

B評価はおおむね順調となっているため、さらにAに近づくよう取り組んでいく。

高田委員

基礎的学力の向上に向けた授業研究の実施について、A評価としているが、事務局としてはどう思われるか。

教育部長

授業研究の実施というところでは、各学校やスクールシップの中で中学校間での連携を深めて勉強を行っている。その点で取組評価としては積極的に行えたと考えている。

高田委員

認知機能の試験で、数学の力が落ちている。例えばA子さんが3歳、B子さんが5歳、C子さんが2歳。隣のおじさんは何歳か。という問題で10歳という回答があるとのことである。文章問題をイメージしながら読むのだが、数字が出てきたから足す、という認知機能の子どもがいるという調査結果がある。この辺りを何とかしていかなければ学力が回復していかない。また、学習指導要領だけに頼っていると、学力が落ちるといえるか、なかなか回復していかないと感じている。

教育長

学校教育専門員が各学校を周り、研究主任の全体的な形を見ると力があり、前任の指導員の取組みもすごく良かったので、レベルが全体的に高いと感じていると話していた。

なお、本報告書については、承認後議会の方へ提出することになる。原案のとおり承認。

1.1 報告事項

(1) 利府町文化交流センター指定管理者のモニタリング評価（令和5年度）について

(説明者：生涯学習課長)

管理運営が適正かつ確実に実施されているのかを確認するために、内部評価として、3つのモニタリングを行っている。一つ目として、毎

月、月報を基に事業の実施状況の確認、利用者の意見、苦情要望等について情報交換を行っている。

二つ目として、四半期毎の実施報告書の確認、収支状況、減免分の請求に誤りがないかの確認、事業の進捗についてチェックしている。

三つ目として、年度末、年度の終了後提出される業務報告書をもとに、モニタリングシートを作成し評価点をつけている。

続いて、利府町文化交流センター指定管理者評価懇話会について、生涯学習課による内部評価案に対し、第三者的立場、利用者有識者からご意見をいただくものである。そのご意見を元に、内部評価案の見直し等を行い最終評価を決定するものである。本定例会での報告の後、町ホームページにて公表するものである。

資料に基づき説明。

(質疑)

坂下委員

様々な事業をされている。周辺に商業施設も増え、道路が混んでいる。特に土日は、混雑している。混雑を理由に足が遠のかないと良いと思う。

小島委員

来館者数が増えており、良いと思う。

高田委員

以前より教育委員からリフノスについて宣伝を望む声があったが、かなり周知が図られていると考えてよいか。

生涯学習課長

PR面だが、リフノス独自事業で仙台放送へ依頼し土曜昼の番組で宣伝いただく予定となっている。また、コンサート等も様々なジャンルを実施し、町外の方も沢山来ていただいている。

高田委員

かなり認知されてきているということですね。

(2) 文化交流センター「リフノス」の実績報告（令和6年度第1四半期） について

(説明者：生涯学習課長)

図書館関係について、まず利用状況は、図書館、公民館及び多目的ホール来館者数が第1四半期で5万6,496人である。前年が5万1,984人。対比で言いますと8.7%増になっている。続いて図書館資料の貸出数、7万2,914冊。前年度は7万1,424冊で2.1%の増になっている。

続いて主な図書館事業について、6月8日「町の幸せと本」フォーラムで絵本作家の飯野和好氏の絵本読み語りライブを実施した。こちらは

6月8日から9日の図書館に泊まろうと抱き合わせで実施した。図書館に泊まろう事業は今回で4回目の開催で、大変人気の企画になっている。

次に、主な公民館・文化会館の事業について、4月14日「シャウト！思いを叫ぼう！」は、参加人数94人内出場者12人である。お笑い芸人で遠藤憲一さんのものまねをされている、ねんねん氏にMCを依頼した。5月18日、自衛隊音楽隊コンサートを実施した。参加者は午前の部315名、午後の部が329名である。6月15日に芸術鑑賞事業として「やさしい風が運ぶもの」ギターとチェロの午後ということで実施し、137名の参加があった。

(3) 利府町の自然風土スポット普及啓発事業について

(説明者：生涯学習課長)

5月定例教育委員会において令和5年度までの報告をしたが、今年度においても実施するもの。趣旨として町の自然や文化、歴史について興味や関心を高めるとともに、郷土愛を育むことを目的に利府町内の自然や文化スポットである利府城跡、馬の背、加瀬沼、榎川、番ヶ森、県民の森、利府町文化交流センターリフノス、菅谷横穴墓群の普及啓発事業を行うものである。対象は町内の小中学生、主に小学校6年生及び中学校2年生である。事前に認知度調査を6月に実施しているが、小中学校ともリフノス・加瀬沼・県民の森の認知度は非常に高く、榎川と番ヶ森は低い傾向がある。夏休み前に啓発チラシを小中学校へ配布し、ぜひ夏休みに子ども達や家族で行ってほしいとPRした。成果について1月に再度調査し、結果を検討していきたいと考えている。

(4) 令和6年度キャリアシップ（職場体験学習）実施について

(説明者：教育総務課長)

昨年度4年ぶりに復活した事業である。実施期間と対象者について、今年度は11月18日（月）から22日（金）までの5日間の実施である。実習対象者は利府町立全中学校2年生、合計374人である。内訳は利府中学校157名、しらかし台中学校108名、利府西中学校190名となっている。受入れ事業所の募集及び決定について、7月中旬に1度締め切ったが、充足率が満たされていないため引き続き誘致活動をしていきたい。実習受入れ事業所の各中学校への振り分けなどについて、例年よりも1ヶ月以上早めて今年度のスケジュールを組んでいる。できるだけ学校と事業所との打ち合わせ等の期間がないとか、そういった負担がないように進めている。今年度新たな取り組みとして、新しくやってみたいが中身が分からない、または、久しぶりに参加する事業所の方向けに、事

業者説明会を6月25日に実施した。

続いて、感謝状の贈呈については昨年度からの事業であるが、キャリアシップ実習受入先として、教育委員会で定める期間受け入れていただいた事業所様に対し、感謝状の贈呈やステッカー配布を行い、10年以上受け入れていただいた事業者様へ、卓上の表彰盾を贈呈する予定である。

(質疑)

高田委員

昨年度、感謝の会の実施で盛り上がったと感じたが、事業所の申し込みは伸びていないものか。

教育総務課長

すごく伸びていないという訳ではないが、生徒数を満たす目標値までは満たしていない状態である。

(5) 教職員の事故について

教育長

(5) 教職員の事故については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(6) 各小・中学校の状況について

教育長

(6) 各小中学校の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

(7) その他について

(説明者：教育総務課長)

東北六縣市町村教育委員連合会教育委員・教育長研修会について、7月12日に教育長と村松委員、随行で教育総務課長及び総務学事係長で出席したので報告する。二部構成で開催され、第一部は鶴岡のスペースステーション代表の講演であった。第二部は「優れた教師人材の確保に向けた取り組みについて」文科省資料のとおりである。

次に、イングリッシュキャンプについて、再来週8月6日、7日と森郷キャンプ場においてデイキャンプを2日間実施する。定員30名で募集し、その後3名キャンセルが出たため、今のところ27名で実施する予定である。

(説明者：生涯学習課長)

今年も「あさガオー・みヤギー」ミュージアムキャラクターアワード2024 エントリー中である。投票は、本日のお昼12:00から先程始まったばかりである。今ちょうど結果を見たところ、現状で第5位である。

皆さん、投票よろしく願います。

(説明者：教育総務課長)

教育整備検討委員会の部活動の地域移行と学区編成ですが、今のところ委員にお願いしようと考えている一覧である。全くどなたともコンタクトを取っていない状況であるため、案の案といった形である。今後委員選定を進めていきたいと考えている。最後に学校給食の牛乳の件である。森永乳業の牛乳の風味異常について、5月20日から牛乳提供を再開していたが、安全確認のため当面の間、各学校での牛乳の検食人数を3人体制にしていたが、1学期中に特に異常等は見受けられなかったということで2学期から通常どおり校長先生のみを検食とさせていただく。近隣の自治体もほぼ同じ取り扱いと聞いている。

1 2 事務局からの連絡事項

(1) 令和6年8月定例会の開催について

次回開催予定日は、令和6年8月28日水曜日午後1時からである。

1 3 閉会